

学校 番号	37	学校名	小諸高等学校
----------	----	-----	--------

平成 30 年度学校評議員活用状況報告書

第 1 回学校評議員会 【平成 30 年 6 月 12 日（火）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- 時間 授業見学 14:40～ 授業見学 評議員会 16:00～17:30
- 会場 本校大会議室
- 出席者 評議員 6 名、職員 13 名
- 次第
 - 1 学校長挨拶
 - 2 学校評議員委嘱状交付
 - 3 自己紹介（学校職員、評議員）
 - 4 学校からの説明
（学校概要、学校評価、教務、進路指導、生徒指導、生徒会、音楽科、各学年について）
 - 5 質疑、討論
 - 6 まとめ

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- 地元自治体代表の評議員については、新しい目でご意見をいただけるよう、昨年度まで長年お勤めいただいた方とは異なる方に依頼した。
- 学校として目指している方向、生徒の変化の様子等について丁寧に説明した。会議資料には、各係からの報告文書に加え、学校通信、新聞記事等、日常の活動が解る資料を用意した。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- 気持ち良い挨拶や穏やかな生徒の様子、一生懸命授業に取り組む様子、クラブ活動等の活躍が大変良い。
- 街中に音楽があふれるような街づくりをしていきたい。音楽科の協力を。
- e ポートフォリオの活用について高大連携、ふるさと学習について中高連携を推進する必要がある。
- 生徒の主体性を重視した教育はとても大切である。さらに推進を。
- 進路、学習に向けての生徒の危機感が足りないのではないか。
- SNS の「トラブルに巻き込まれないように」という講演はよくあるが、「軽い気持ちでやったことでも加害者になることがある」など、生徒に危機感を持たせる講演も必要である。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- 評議員会に向け、資料を整え、各担当からの説明を求めることは、学校運営の点検の重要な機会となっている。
- 地域から見て小諸高校が良い状態であることを職員が認識できたことは励みになる。
- 良い点ばかりでなく、課題についても率直な意見をいただくことができた。今後の学校運営に生かしたい。